

平成27年度第2回産業衛生技術部会幹事会 議事録

日時：平成27年9月19日(土) 12:00～13:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

出席（敬称略）：加藤隆康、橋本晴男、中明賢二、伊藤昭好、落合孝則、田口豊郁、城 憲秀、土屋真知子、中村憲司、野原誠一郎、保利 一、森本寛訓、村田 克（文責）

1. 今般の当部会主催・企画行事

以下の行事計画について報告した。

平成27年9月18日(金)：第25回産業医・産業看護全国協議会 行事

・シンポジウム2

日時：平成27年9月18日(金) 10:00～12:00

会場：周南市文化会館 第2会場（3階 展示室）

テーマ：受動喫煙の工学的対策

座長：森本 寛訓（川崎医療短期大学）、田口 豊郁（川崎医療福祉大学）

1. 「労働安全衛生法改正による、これからの受動喫煙防止対策」
濱本 和孝（厚生労働省 労働基準局安全衛生部 化学物質対策課 環境改善室長）
2. 「企業の対策事例」加部 勇（古河電気工業株式会社 人事総務部衛生管理センター）
3. 「喫煙場所設置時の問題点について」黒木 孝一（黒木労働衛生コンサルタント事務所）

平成27年9月19日(土)：産業衛生技術部会 行事

・第21回産業衛生技術専門研修会

日時：平成27年9月19日(土) 9:00～11:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

テーマ：地元企業の労働衛生管理の実際(地元企業の衛生管理者活動報告)

座長：田口豊郁（川崎医療福祉大学）、公文 崇（淳風会環境管理課）

1. 「三井化学（株）岩国大竹工場における労働衛生管理評価の取組み」
河野 亮(三井化学株式会社 岩国大竹工場)
2. 「某金属加工業で生じた有害事象に対する専門的支援の一例」
石井 健二(宇部興産株式会社 総務・人事室 健康管理センター)

・産業衛生技術部会幹事会

日時：平成27年9月19日(土) 12:00～13:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

・第24回産業衛生技術部会大会（産業衛生技術シンポジウム）

日時：平成27年9月19日(土) 13:00～16:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

テーマ：「個人ばく露測定ガイドライン」の報告会 - 化学物質のリスクアセスメントへの活用
座長：村田 克（早稲田大学）

1. 「化学物質のリスクアセスメント」山田 憲一（中央労働災害防止協会）
2. 「個人ばく露測定ガイドラインとリスクアセスメントへの活用」橋本 晴男(東京工業大学)
3. 「個人ばく露測定ガイドラインの技術的な特徴、および測定事例」熊谷 信二(産業医科大学)
4. 「簡易的測定方法の事例、および個人ばく露測定の更なる事例」中原 浩彦(東燃ゼネラル石油)

2. 来年春の学会（福島）における部会行事（案）

以下の行事計画について進捗報告した。

- ・質問：「職場のメンタルヘルス対策」の内容は？

→ 単にストレスチェックにとどまらない職場全体の活性化をテーマにする予定。そのような内容を反映した適切な演題にする。

- ・第22回産業衛生技術専門研修会
司会：宮内博幸（産業保健協会）
テーマ：スマートスーツを用いた農業労働などの負担軽減
演者：北大・田中
- ・産業衛生技術フォーラム
座長：加藤隆康（グッドデザイン）、大西明宏（安衛研）
テーマ、演者：除染作業の被曝評価、未定（安衛研）
リフトなどによる介護職場の負担軽減、未定
職場のメンタルヘルス対策、島津明人（東大）

3. 次年度事業予算案（別紙）および事業計画案について

学会本部へ来月提出予定の、平成28年度産業衛生技術部会事業計画案（下記）および事業予算案（次ページ）について、了承された。

1. 産業衛生技術フォーラムおよび第22回産業衛生技術専門研修会を第89回日本産業衛生学会（福島市）において開催する。
2. 第26回産業医・産業看護全国協議会（京都市）を他部会と共同で開催する。
3. 部会総会を第89回日本産業衛生学会（福島市）において開催する。
4. 部会幹事会を第89回日本産業衛生学会（福島市）および秋季に開催する。
5. 他の部会と協働して合同行事を開催する。
6. 各地方会と協働して産業衛生技術に関する研修会を開催する。
7. 産業衛生技術部会奨励賞の候補者を選考し、該当者を表彰する。
8. 6委員会の活動を行う。
(1) 企画運営委員会 (2) 教育研修委員会 (3) 広報委員会 (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (5) 表彰委員会 (6) 4部会コラボレーティング委員会

4. 中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）

今年度候補者の推薦を依頼した。なお次回から「産業衛生技術部会奨励賞」（賞状とペンなど副賞）とする予定。また、12月19日(土)17時～・浜松町東京會館において中明賞受賞者を集めて忘年会の予定である。

<参考>過去の受賞者（敬称略）：平成17年（#1）＝宮内 博幸、平成18年（#2,3）＝篠宮 真樹・山野 優子、平成19年（#4,5）＝大藪 貴子・村田 克、平成20年（#6,7）＝関向 和明・長谷川 紀子、平成21年（#8,9）＝竹内 靖人・中村 亜衣、平成22年（#10,11）＝落合 孝則・對木 博一、平成23年（#12,13）＝今井 常彦・城 憲秀、平成24年（#14,15）＝大西 明宏・進藤 拓、平成25年（#16）＝原 邦夫、平成26年（#17,18）＝中原 浩彦・中村 憲司、平成27年（#19,20）＝片岡 直也、山本 忍

5. 「個人ばく露測定ガイドライン」の技術部会HP掲載について

多くの方に利用していただけるよう、「個人ばく露測定ガイドライン」を無償でダウンロード可能とし、任意で日本産業衛生学会と技術部会会員への入会または技術部会のメール会員（会費不要）になってもらうよう推奨することについて、了承された。

6. その他

- ・提案：欧米のIndustrial Hygienistに相当する人材の育成、認定を、産業衛生技術部会として進める時期にあるのではないかと。
- 資格認定は既に他団体が国際認証を得ており困難だが、育成面を中心に検討する。
- ・「個人ばく露測定ガイドライン」に関わる各研修会を今年度の部会活動報告にまとめる。
- ・「個人ばく露測定ガイドライン」のダイジェスト版の作成を検討する。

収支予算書

平成28年 3月 1日から平成29年 2月28日まで

産業衛生技術部会

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用利息	0	0	0	
基本財産受取利息費	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	
学生会員受取会費	0	0	0	
事業金等収益	0	0	0	
協賛金等収益				
投稿超過貢献収益				
別刷収録収益				
参加登録料収益				
資格認定収益				
その他の事業収益				
受取補助金等	800,000	800,000	0	
受取本部助成金	800,000	800,000	0	
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金				
受取民間助成金				
受取負担金	0	0	0	
受取活動費				
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金				
雑収益	1,000	1,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益				
経常収益計	801,000	801,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	620,000	610,000	10,000	
臨時雇賃金				
会場費	50,000	50,000	0	
旅費				
通信運搬費				
印刷製本費				
懇親会費				
消耗品費				
機関誌印刷費				
機関誌編集費				
機関誌発送費				
広報渉外費				
研究費				
諸謝金	240,000	120,000	120,000	
学会助成金				
協議会助成金				
大会研修会助成金				
部会助成金				
地方会助成金	240,000	320,000	-80,000	
委員会費				
研究会費	90,000	120,000	-30,000	
委託費				
国際交流費				
開発保守費				
雑費				
管理費	181,000	190,000	-9,000	
給料手当		10,000	-10,000	
退職給付費用				
法定福利費				
総会費				
理事幹事会費	50,000	50,000	0	
旅費	100,000	100,000	0	
通信運搬費				
役員改選費				
名簿発却費				
減価償却費				
印刷製本費	5,000	5,000	0	
消耗什器備品費				
消耗品費	5,000	5,000	0	
会員報奨費	5,000	5,000	0	
広報渉外費	5,000	5,000	0	
賃借料				
租税公課				
委託費				
雑費	11,000	10,000	1,000	
経常費用計	801,000	800,000	1,000	
評価損益調整前当期増減額	0	1,000	-1,000	
評価損益等計				
当期経常増減額	0	1,000	-1,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	0	1,000	-1,000	
一般正味財産期首残高	1,225,111	732,564	492,547	平成27年3月1日現在
一般正味財産期末残高	1,225,111	733,564	491,547	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,225,111	733,564	491,547	